-第92号-　2026年（令和8年）11月11日発行

しあわせをおすそわけするまち 筑西市

筑西市（ちくせい）議会だより





目　　次

決算特別委員会	2～3ページ
トピックス	4ページ
議決一覧表	5～6ページ
議案質疑・常任委員会	7～8ページ
一般質問	9～17ページ
視察研修報告	18～19ページ
議会日誌・編集後記	20ページ

地域の課題を語る！

自治会連合会との意見交換会を開催

自治会連合会役員の皆様と地域の課題やこれからのまちづくりについて意見を交わしました。詳しい内容は４ページの特集記事をご覧ください。

写　真：意見交換会の様子

編　集　筑西市議会広報委員会／発　行　筑西市議会

特集

令和7年度

決算特別委員会

決算で検証！市政の成果と課題

主な質疑項目

決算特別委員会では、12名の委員からさまざまな分野にわたって質疑が行われました。その中から、主な質疑項目を委員ごとに紹介します。



議事を進行する中座委員長

鈴木一樹副委員長



- ◆筑西市誕生２０周年記念事業
- ◆下館武道館等維持管理費
- ◆道路維持管理経費
- ◆外国語指導経費

新井　暁委員



- ◆協働のまちづくり支援事業
- ◆商業活性化補助事業
- ◆耐震改修促進事業
- ◆市営住宅維持補修事業

吉富泰宣委員



- ◆総合計画策定事業
- ◆公共施設包括管理事業
- ◆定期予防接種事業
- ◆英語検定料助成事業

小倉ひと美委員



- ◆シティプロモーション推進事業
- ◆移住定住促進事業
- ◆地域産品活性化戦略事業
- ◆医療的ケア児支援事業

増渕愼治委員



- ◆奨学金返還支援事業
- ◆庁舎維持管理費
- ◆コミュニティプラザ管理運営事業
- ◆高齢者等ごみ出し支援事業

三浦　譲委員



- ◆公共施設包括管理事業
- ◆地域防犯カメラ設置補助事業
- ◆避難所機能強化事業
- ◆道の駅拡張整備事業

水井信雄委員



- ◆スピカビル管理運営事業
- ◆高齢者等ごみ出し支援事業
- ◆公共交通対策事業
- ◆明野幼稚園施設解体事業

國府田和弘委員



- ◆奨学金返還支援事業
- ◆地域産品活性化戦略事業
- ◆公共交通対策事業
- ◆地域クラブ推進事業

水柿美幸委員



- ◆男女共同参画推進事業
- ◆移住定住促進事業
- ◆小中一貫教育推進事業
- ◆道の駅拡張整備事業

藤澤和成委員



- ◆行政不服審査会経費
- ◆過誤納付還付事業
- ◆消防施設整備事業
- ◆外国語指導経費

仁平正巳委員



- ◆職員研修事業
- ◆自主防災組織支援事業
- ◆人権啓発推進事業
- ◆スクールバス運行事業

令和７年度の決算を認定しました

３日間にわたり、令和７年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の決算について活発な質疑応答が交わされ、事業の実績や成果、今後の取組など、さまざまな視点から審査を行いました。

定例会最終日の本会議で、委員長が審査結果を報告し、採決の結果、全ての決算を認定しました。

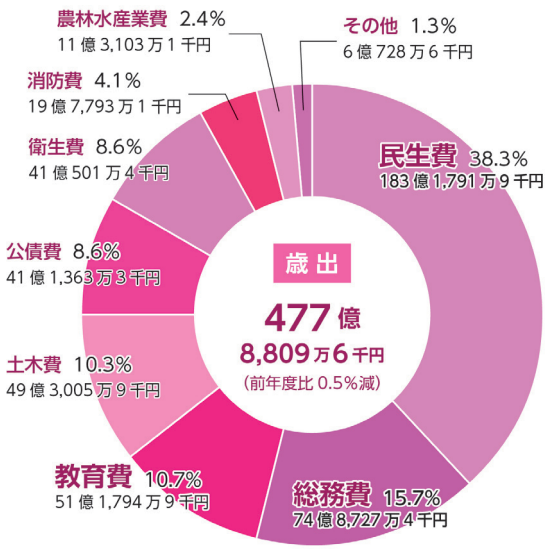


決算特別委員会の様子

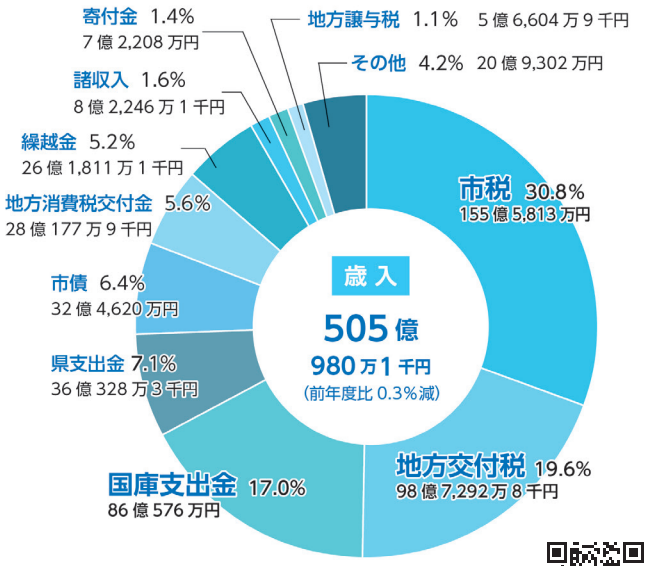
一般会計決算

「グラフで見る！」決算額の内訳

歳出：市が使った金額は？



歳入：市に入った金額は？



⇒ 詳細は広報紙 People11 月１日号を併せてご覧ください。

市の決算を　家計に例えると



市の支出 ➡ 家計の支出

民生費	子育て・高齢者福祉など	➡ **生活費 医療費**
総務費	市役所の運営、防災など	➡ **光熱費 通信費**
教育費	学校教育・スポーツ振興など	➡ **教育費**
土木費	道路の整備、まちづくりなど	➡ **住宅の修繕費**
公債費	市の借入金の返済	➡ **ローンの返済**
衛生費	健康づくり、ごみ処理など	➡ **医療費 衛生費**

市の収入 ➡ 家計の収入

市　税	市民の皆様からの税金	➡ **給料**
地方交付税	どの自治体でも一定の行政サービスが行えるよう交付されるお金	➡ **親からの仕送り**
国庫支出金 県支出金	国や県からの補助金など	➡ **親からの仕送り**
市　債	市の借入金	➡ **銀行からの借入れ**
繰越金	前年度の決算で生じた剰余金	➡ **前年の残りのお金**

自治会連合会との意見交換会を開催しました

９月９日、自治会連合会との意見交換会を開催しました。19 名の自治会連合会役員の皆様にご参加いただき、議員定数の在り方に関する調査特別委員会の調査結果を報告した後、市の課題となっている３つのテーマについて、活発な意見交換が行われました。

今回いただいた貴重なご意見・ご提案は、各委員会での調査・研究や市への政策提言など、今後の議会活動に生かしてまいります。

分科会テーマと内容



1 茨城県西部メディカルセンター

茨城県西部メディカルセンターが医師や看護師などの医療人材不足により病床をフル稼働できない状況が続いています。さらに、固定費の負担や、コロナ禍後の補助金終了なども重なり、毎年、市から億単位の財政支援が必要な厳しい経営状況が続いています。安定した医療を守るため、今後の在り方について意見を交換しました。



自治会連合会役員の皆様の声

○地域医療の要である病院で横領事件が発生したことは極めて遺憾であり、事件の背景にある問題点を徹底的に解明し、損害額の算定と回収を明確にすべきである。

○横領事件という不祥事によるイメージ悪化で、医師の離職や受診控えが起き、医療の質が低下することを最も危惧している。

2 学校跡地利活用



明野地区にある３つの小学校（大村・村田・鳥羽）の跡地について、現在も有効な活用の方向性が決まっておらず、大きな課題となっています。また、協和地区でも今後、義務教育学校の整備計画が進められており、同様の課題が想定されます。地域のにぎわいや活性化につながる利活用について意見を交換しました。

自治会連合会役員の皆様の声

○学校跡地利活用の事業者の選定に当っては、市で統一した選定基準を作る必要があるのではないか。

○地域のためではなく、事業者の利益のために学校跡地が利用されるのは納得できない。

3 公共交通

現在、本市運営の公共交通としてバス４路線及びデマンド交通システム「のり愛くん」が運行されており、市街地等の比較的人口密度の高い地域等をバスで結び、その他の地域は「のり愛くん」で対応している状況です。その中での課題として、バスの乗車率や未運行地域の問題、「のり愛くん」の利便性向上等について意見を交換しました。



自治会連合会役員の皆様の声

○高齢者にとってのり愛くんの予約は難しく、また予約がとりにくい。高齢者でも分かりやすく、簡単にできるよう改善してほしい。

○土日だけでもザ・ヒロサワ・シティ体育館と玉戸駅をつなぐバスを運行してほしい。



第３回定例会 議決一覧 【令和８年９月２日開会】

議案内容の詳細はホームページをご覧ください

全会一致で可決した案件

件名等		内容	付託委員会	結果
報告第１１号	処分事件報告について（和解に関すること及び損害賠償の額を定めることについて）	下岡崎地内で起きた車両接触事故に伴う和解及び損害賠償について、専決処分したもの	―	報告
議案第５９号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	人権擁護委員が任期満了となるため委員の推薦について議会の意見を求めるもの	―	推薦に同意
議案第６０号	市道路線の廃止について	下館地区における５路線及び協和地区における１路線の計６路線を廃止するもの	経済土木	原案可決
議案第６１号	市道路線の認定について	下館地区における７路線及び協和地区における１路線の計８路線を認定するもの	経済土木	原案可決
議案第６２号	筑西市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について	地方自治法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、引用する条項の規定の改正を行うため、条例を改正するもの	総務企画	原案可決
議案第６５号	令和８年度筑西市一般会計補正予算（第４号）	昨今の豪雨に対応するための認定こども園せきじょう駐車場舗装工事に係る工事費、利用者増に伴う産後ケアサービスに係る委託費、筑西市オーガニック農業推進協議会設置に伴う補助金、物価高騰に伴い増額となる道路維持補修工事費、台風により傾いた防災行政無線屋外支局の建替工事費等について補正するもの	総務企画 福祉文教 経済土木	原案可決
議案第６６号	令和８年度筑西市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	地方独立行政法人茨城県西部医療機構に地域医療体制の充実を図るための補助金を交付するもの	福祉文教	原案可決
議案第６７号	令和８年度筑西市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億2,730万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ33億4,923万1千円とするもの	福祉文教	原案可決
議案第６８号	令和８年度筑西市介護保険特別会計補正予算（第１号）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ２億1,591万１千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ99億9,883万円とするもの	福祉文教	原案可決
議案第６９号	令和８年度筑西市水道事業会計補正予算（第２号）	茨城県上水道転換支援事業（水道加入金及び工事費の一部を助成）を活用し飲用井戸から上水道への切り替えを推進するための収益的収支、企業債償還金の償還期間の見直しによる資本的支出の予定額を補正するもの	経済土木	原案可決
議案第７０号	令和７年度筑西市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	令和７年度水道事業会計決算で生じた未処分利益剰余金の一部を資本金に組み入れるもの	経済土木	原案可決
議案第７１号	令和７年度筑西市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	令和７年度下水道事業会計決算で生じた未処分利益剰余金の一部を減債積立金に積み立てるもの	経済土木	原案可決
議案第７２号	令和７年度筑西市農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分について	令和７年度農業集落排水事業会計決算で生じた未処分利益剰余金の一部を減債積立金に積み立てるもの	経済土木	原案可決
議案第７３号	令和８年度筑西市一般会計補正予算（第５号）	防犯カメラ設置補助金、下館給食センターのボイラー更新工事費について補正するもの	―	原案可決
認定第２号	令和７年度筑西市公営企業会計決算認定について	令和７年度公営企業会計決算の認定を求めるもの	決算特別	認定

【請願】

件名等		内容	付託委員会	結果
請願第１号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	教職員定数改善を推進、義務教育費国庫負担制度を堅持及び自治体が実効性のある働き方改革を実行するために必要な予算措置を講じることを求めるもの	福祉文教	採択
請願第２号	筑西市関城老人福祉センターの機能維持及び給食室改修に関する請願	センターの集約化・統廃合を進めるにあたり、猶予期間を設け、その間も安全かつ活発に利用できる環境を維持すること及び改修を早期に実施し、衛生的かつ安心・安全な地域福祉活動が推進できる環境改善を図ることを求めるもの	福祉文教	採択
請願第３号	旭ヶ丘地区の良好な住環境維持及び環境汚染防止に関する請願	旭ヶ丘地区の住民にとっての良好な住環境維持及び環境汚染防止の観点から、旭ヶ丘地区内における再生資源物の屋外保管場設置計画の白紙撤回及び申請の取下げを事業者に指導することを求める意見書を茨城県に提出することを求めるもの	総務企画	採択

【議員提出議案】

件名等		内容	付託委員会	結果
議員提出議案第６号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書（案）の提出について	教職員定数改善を推進、義務教育費国庫負担金制度を堅持及び自治体が実効性のある働き方改革を実行するために必要な予算措置を講じることに関し意見書を国に提出するもの	―	原案可決
議員提出議案第７号	旭ヶ丘地区の良好な住環境維持及び環境汚染防止に関する意見書（案）の提出について	旭ヶ丘地区の住民にとっての良好な住環境維持及び環境汚染防止の観点から、旭ヶ丘地区内における再生資源物の屋外保管場設置計画の白紙撤回及び申請の取下げを事業者に指導することを求める意見書を茨城県に提出するもの	―	原案可決

第３回定例会 賛否が分かれた案件

○＝賛成　×＝反対　欠＝欠席　16番田中議員は、議長のため採決には加わりません。

議案等	結果	1 水井 信雄	2 新井 暁	3 國府田和弘	4 塚田 砂与	5 吉富 泰宣	6 日髙 久江	7 石嶋 巌	8 鈴木 一樹	9 水柿 美幸	10 中座 敏和	11 森 正雄	12 小倉ひと美	13 欠員	14 藤澤 和成	15 保坂 直樹	16 田中 隆徳	17 大嶋 茂	18 増渕 愼治	19 仁平 正巳	20 三浦 譲	21 堀江 健一	22 秋山 恵一	23 榎戸甲子夫	24 赤城 正徳
議案第６３号	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	－	○	○	／	○	○	○	×	○	欠	○	○
議案第６４号	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	－	○	○	／	○	○	○	×	○	欠	○	○
認定第１号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	／	○	○	○	×	○	欠	○	○

■議案第６３号　筑西市税条例の一部改正について　付託委員会：総務企画委員会

令和８年度税制改正に伴い、特定暗号資産の譲渡等に係る所得への課税特例を設けるため、条例を改正するもの

■議案第６４号　筑西市附属機関に関する条例の一部改正について　付託委員会：経済土木委員会

農業委員会委員候補者選考委員会の名称及び担任事務を変更し、農地利用最適化推進委員の候補者の選考について同委員会に諮問することができるようにするため、条例を改正するもの

■認定第１号　令和７年度筑西市一般会計及び特別会計決算認定について　付託委員会：決算特別委員会

令和７年度一般会計及び特別会計決算の認定を求めるもの

議案質疑

第３回定例会に提出された議案に対する質疑と回答の主なものは次のとおりです。

動画視聴はこちらから

○議案第65号 令和８年度筑西市一般会計補正予算（第４号）

◇オーガニック農業支援事業

問 オーガニック農業推進協議会を設置する目的は。

答 有機農業の健全な育成や普及、発展を通して環境負荷の低減を図るとともに、農業の安定した営農に寄与し、持続可能な地域農業の存続と発展を図ることを目的としている。

問 有機転換推進事業補助金の対象は。

答 有機農業に新たに取り組もうとする農業者が対象である。転換初年度の１回に限り、有機種苗の購入、圃場環境の整備など有機農業の生産開始に必要な掛かり増し経費として、面積に応じて10アールあたり２万円の補助をするものである。

◇妊娠・出産支援事業

問 産後ケアサービスの本年度の最終的な利用見込み人数は。

答 宿泊型１００人、通所型３８２人、訪問型１００人の合計５８２人を見込んでいる。

問 施設利用料の統一を図った理由は。

答 通所型事業では、医師の配置の有無を考慮して医療機関と助産所で利用料金の違いを設けていた。事業定着に伴い、助産所においても協力医療機関や相談できる医師の確保など、安全管理、支援体制に差がないことが確認されたため統一を図った。

◇中学校教育振興事業

問 中学校に３Ｄプリンターを購入するとのことだが、期待する教育的効果は。

答 三次元的な認識能力が養われ、自分で描いたデザインが立体的なものとして作り出される等の経験を通して、学習意欲が刺激されることを期待している。

総務企画委員会

請願１件、議案３件を審査しました。
いずれも原案のとおり可決しました。

（※議案は議決一覧表参照）



◎中座　敏和　○鈴木　一樹
水井　信雄　國府田和弘
石嶋　巖　水柿　美幸
堀江　健一　榎戸甲子夫
◎委員長　○副委員長

○議案第63号 筑西市税条例の一部改正について

問 特定暗号資産の適正な申告を確認する方法はあるのか。

答 改正により取引業者から税務署へ取引情報の報告が義務付けられた。不適切な申告には国による調査が入る可能性がある。

○議案第65号 令和８年度筑西市一般会計補正予算（第４号）

◎災害対策費（防災行政無線の修繕）

問 台風で傾いた鋼管柱の建て替えを行うとのことだが、今後の防災行政無線の在り方は。

答 既存施設は可能な限り補修で維持するが、長期的な在り方については、部品不足の状況等も踏まえ、防災行政無線自体の在り方について、今後検討を進めていく。

◎交通安全対策推進事業（ヘルメット購入補助）

問 予算増額の理由は。

答 本年４月の改正道路交通法施行により自転車の交通違反に青切符が適用されたこと等で、ヘルメットの購入補助申請が想定を大幅に上回ったためである。

◎会計事務費（システム改修）

問 ｅＬ－ＱＲコードによる電子納付の対象を拡大する際、二重納付は防げるのか。

答 ＱＲコードでも重複納付の可能性は排除できないので、何期分を納付してあるかを、目視確認していただきたい。

福祉文教委員会

◎大嶋　茂　○塚田　砂与
吉富　泰宣　藤澤　和成
増渕　愼治　仁平　正巳
三浦　譲

◎委員長　○副委員長

請願２件、議案４案を審査しました。
いずれも原案のとおり可決しました。

（※議案は議決一覧表参照）



○議案第65号
令和８年度筑西市一般会計補正予算（第４号）

◎（債務負担行為補正（追加））
高齢者等買い物支援事業委託

問 移動スーパーの増便の要望もあるが、今後の計画や課題は。

答 協力店舗のスタッフ不足を派遣人材で補っている状況であり、即座に増員や増便は困難である。当面は現在の２台体制の中で、より効率的に支援が必要な方へサービスを届けられるよう運用を検討していく。

◎認定こども園せきじょう駐車場整備事業

問 当初計画で駐車場の舗装を見送った理由は。

答 園舎建設時にウクライナ情勢等で資材費が15～16億円規模に膨らみ、予算精査の過程で駐車場の舗装を後回しにした経緯がある。

問 なぜこのタイミングで追加整備を行うのか。

答 当初は砂利敷きで十分と判断したが、現在は園児の約87％（170名）が送迎を利用しており、子育て支援センター等の利用者も増えている状況にある。また、開園後に自治会や保護者会から路面のくぼみや水跳ねがひどい、園児が転んで危ないといった具体的な要望が寄せられ、安全確保のために舗装が必要と判断した。

問 雨水が浸透するような舗装の検討は。

答 設計段階で浸透型アスファルトも検討したが、車両の繰り返し通行による摩耗やへこみのリスクを考慮し、耐久性の高い通常舗装を採用した。

経済土木委員会

◎保坂　直樹　○小倉ひと美
新井　暁　日髙　久江
森　正雄　田中　隆徳
秋山　恵一　赤城　正徳

◎委員長　○副委員長

議案８案を審査しました。
いずれも原案のとおり可決しました。

（※議案は議決一覧表参照）



○議案第65号
令和８年度筑西市一般会計補正予算（第４号）

◎オーガニック農業支援事業

問 国からの補助金が２年間交付されるとのことだが、補助期間終了後についてはどのように考えているか。

答 ２年間の交付金終了後は一般財源となる。

問 これまでの学校給食食材に対する考え方は、地産地消のものを優先する考えだったと思うが、オーガニック農産物に方針を切り替えたのか。また、現在のオーガニック農産物の生産規模で給食全量を賄えるのか。

答 これまでどおり、慣行農業への補助等も推進していく。その上で、今回、協議会を立ち上げたことからオーガニックという付加価値をつけた農産物の生産についても推進してまいりたい。現在の生産量では給食全量を賄うことは難しい。

○議案第69号
令和８年度筑西市水道会計補正予算（第２号）

問 茨城県上水道転換支援事業について、飲料井戸からの転換費用の全てをこの補助で賄えるのか。

答 当該補助については、費用の一部を支援するものであり、加入金工事費を合わせて10％ほどの補助になると思われる。

一人当たり持ち時間は45分でした。

Q むし歯予防の全校展開と育休中の放課後児童クラブ利用継続の早期実現を！

A フッ化物洗口は他校へ拡大を検討し、放課後児童クラブは育休中も利用できるようにする



動画視聴はこちらから

【議員】
子どものむし歯予防について、国・県が推進するフッ化物洗口を本市はどう評価しているのか。小学校2校での実施による成果や課題、教職員の負担等を踏まえ、関係者と連携し、他校への導入を検討する考えは。

【教育長】
国・県が推進するフッ化物洗口は、むし歯予防と健康格差の縮小に有効と考えている。市では五所小、河間小で実施し、五所小ではむし歯罹患率が毎年減少している。教員業務支援員を導入し、教職員の負担軽減にもつなげている。今後は関係者の声を踏まえ、他校への展開も検討する。

【議員】
放課後児童クラブについて、育児休業のみを理由とした利用制限は適当でないとの国通知を受け、本市は制度運用にどう反映するのか。また、過去3年の利用継続不可や退所等の把握している件数、運用改善の考えは。

【健康こども部長】
これまで、保護者が育児休業を取得した場合、他の要件に該当しなければ退所としていたが、国の通知を踏まえ、育児休業中も利用対象に含めるよう実施要綱を改正する。過去3年間で51人が退所しており、令和8年11月に行う令和9年度通年利用の一斉募集から新たな取扱いを開始する。

■他の質問
▼西部メディカルセンターの経営強化と内部統制



子どもの健やかな成長と、
子育て家庭の安心を支えます！

Q 高齢者肺炎球菌ワクチン任意接種に対する助成制度創設は？

A 今後、慎重に検討を進めたい



動画視聴はこちらから

【議員】
現在、肺炎球菌ワクチンの接種対象は65歳時の1回のみである。今年度から長期的な効果が認められる新しいワクチンが使用されているが、昨年度までのワクチンは5年程度で効果が低下するとされている。現行制度では、重症化リスクの高い高齢者への予防対策が不十分である。この状況への対応の必要性を市はどう考えるか。

【市長】
肺炎は本市の死因第5位であり、主要な原因である肺炎球菌による重症化を防ぐことは、重要な課題である。65歳時に接種機会を逃した方や接種から時間が経過し免疫低下が懸念される方には、重症化を予防する支援が必要と考える。

【健康こども部長】
免疫低下が懸念される方の再接種による予防効果が期待されることは承知しているが、国の制度において、再接種は定期接種の対象外となっている。

【議員】
66歳以上の未接種者や再接種を希望する方を対象に、長期的な効果が期待されるワクチンを用いた任意接種について、市独自の助成制度を創設する考えは。

【市長】
市としては、国の制度に基づく定期接種を着実に実施することを最優先とし、市独自の助成制度については今後慎重に検討を進めたい。

■他の質問
▼▼防災
▼資源ごみ分別収集



高齢者肺炎球菌ワクチン
（写真はイメージ）

Q もっと！働きやすい職場環境を！

A 市民の利便性と職員の働きやすさを考慮しながら検討していく



動画視聴はこちらから

【議員】市職員の時差出勤やフレックス制等の柔軟な勤務体制について市の方針は。

【総務部長】時差出勤については勤務時間の割振り制度で対応している。フレックス制については市民の利便性と職員の働きやすさを考慮しながら今後研究検討していく。

【議員】柔軟な勤務体制について市長の考えは。

【市長】窓口業務の問題もあるが、今後、子育て中の職員がフレックス制を利用する、又は介護中の職員が休みをとるなどの場合も考慮して、柔軟に検討をすすめていく。

【議員】時差出勤が導入され、職場環境がよくなっているので、さらに働きやすい職場環境のため考えてもらいたい。通年のノーネクタイ制の導入についてはどうか。

【市長】服装の乱れが生活行動の乱れにつながらないか、市民から誤解を受けないか等を総合的に踏まえて決定していく。

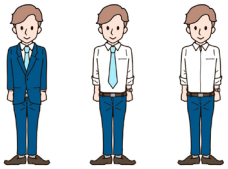
【議員】置きに行く答弁だ。世間的にはノーネクタイでも市民から誤解を受けるような時代ではないのではないか。

【総務部長】現在、職種によっては適宜対応しているが、まずはクールビズ期間を長くする等段階的に考えていく。

【議員】選択制にしてはどうか。

【総務部長】すばらしい提案なので庁議で提案していく。

■他の質問
▼中心市街地　ほか



選択制ノーネクタイ制度の導入を！

Q 基金運用の見直しで収益確保と市民福祉の向上を！

A 安全性を確保したうえで最大限の運用収益を求めていく



動画視聴はこちらから

【議員】令和７年度における本市の基金残高と、現在の運用実績は。

【会計管理者】本市の基金数は29で、残高は約１６２億円である。現在は主に預金で運用しており、令和７年度の運用収益は約３，３０２万円、利回りは約０・２％である。

【議員】超低金利時代が終わり金利が上昇する中、効率的な運用を検討すべきである。また、外部専門家の助言や先進地の調査状況はどうか。

【会計管理者】今年８月に公金管理検討委員会を開催し、先進事例の調査を進めている。銀行等の専門家とも協議を重ねており、多角的かつ客観的な意見を取り入れている。当面取り崩す予定のない財政調整基金等から中長期運用を検討していく。

【議員】安全性を最優先としながら、運用によって財源を生み出し、市民の福祉向上につなげることが大切と考えるが、市長の考えと今後の運用開始時期は。

【市長】安全性を確保したうえで最大限の収益を求める視点に基づき、より効率的な資金管理を進めていく。

【会計管理者】検討委員会の承認を経て、速やかに国債等での運用を開始できるよう準備を進める。

■他の質問
▼▼県立明野高等学校
▼下館駅前駐車場　ほか



基金の効率的な運用で市民福祉の向上を！

一人当たり持ち時間は 45 分でした。

Q 市長の公約である医療系大学誘致の進捗は？

A 本市への移転のメリットを示しながら前に進めていく


大嶋議員

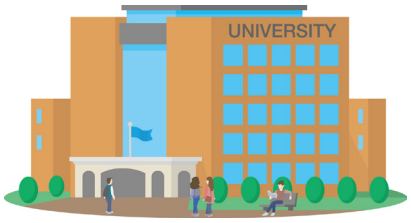
動画視聴はこちらから

【議員】
市長は公約として「医療系大学の誘致」を掲げ、多くの市民が期待を寄せている。これまでの進捗状況に関する質問に対しては「担当職員に調査研究を進めるよう指示している」との答弁だったが、具体的な進捗状況は。

【市長】
本市に強みのある分野の大学や学部を対象に、誘致に向けた取組を進めている。また、内閣府の情報サイトを活用し、本市が希望する大学等について、誘致の意向を発信するとともに、本市が示すことのできる進出メリットについて、担当職員に調査研究を進めるよう指示しており、誘致の実現に取り組んでいる。

【議員】
これまでと同じ答弁で進捗が見えない。財源、スタッフ、土地の問題等解決すべき課題が多くある。実際に職員はどのような機関や大学にどのような活動を行っているのか。

【市長】
現在、調査研究の段階であり、本市へ進出するメリットを最大限示せるようまとめているところである。医療系大学等の誘致については、新設ではなく、地方への移転という形で、他市町村との差別化を図り、本市への移転のメリットを示しながら前に進めていく。



医療系大学誘致の推進を！

■他の質問
▼本社機能誘致
▼インクルーシブ社会の実現
▼農業後継者の育成

Q 西部メディカルセンターの信頼回復へ市長の役割を果たせ

A 地域住民の命を守る拠点として残すため努力する


三浦議員

動画視聴はこちらから

【議員】
現在の西部医療機構は、元職員の横領事件と経営赤字による信用問題を抱えている。市長は、早急な信用回復を図るためにどのように取り組んできたのか。

【市長】
横領事件については、設立団体の長として重く受け止めており、今後二度と起こさない仕組みをつくるとともに、隠蔽を疑われない、透明性の高い対応をしていくと報告を受けている。市としても、法人の内部監査及び再発防止策の実施状況について、臨時の立入検査を実施し、監視体制を強化する。

【議員】
西部医療機構は理事長の謝罪とともに「診療体制への影響はありません」「再発防止策を速やかに講じております」「問合せは下記の電話番号で承ります」と発表をした。しかし、筑西市の市長としての発表がない。市長は自分の言葉で病院の信頼を得るための役割を果たすべきではないか。

【市長】
西部メディカルセンターを、この地域の皆様の命を守る大切な拠点として今後も残していくために、失った信頼を回復し、市民の皆さんとの絆を結びながら、病院としての役割を果たせるよう努力していく。


西部メディカルセンター

■他の質問
▼学校体育館の空調整備
▼幼児教育・保育の給食無償化
▼害獣被害の実態把握

Q 10 年、20 年後を見据えた市政運営を！「未来へのかけ橋」をどう築いていくのか？

A 安心して暮らし、将来に希望を持てるまちを次の世代へ引き継いでいくよう取り組んでいく



動画視聴はこちらから

【議員】海外友好都市締結を目指しているが、交流により、学校教育における連携はどのように考えているか。

【市長】友好都市となる学校の教職員や生徒との交流を通じ、異文化への相互理解を深めるとともに、実践的な英語学習やグローバル人材の育成等を目指している。

【議員】観光、農業、産業、文化などの交流はどう考えているか。

【市長】友好都市等協定締結が実現した際には、経済団体と協議し、連携を図っていきたい。

【議員】協定締結が目標ではなく、これまでのつながりを大切にしながら本市の未来につなげていくことが重要と考える。友好都市だけでなく、各施策を通じて、子供たちが夢を持ち、若者が地域に残り、人が活躍し続けられるまちをどうつくっていくのか。また、未来へのかけ橋を築くため、どのような熱い思いがあるのか。

【市長】一つ一つの施策は単独で完結するものではなく、それぞれが効果的に結びつき、未来へのかけ橋になるものと考えている。市民が安心して暮らし、将来に希望が持てるまちを次世代に引き継ぐことができるよう、市政運営に取り組んでいく。

■他の質問
▼地域経済活性化
▼地域おこし協力隊との連携



未来へのかけ橋となる市政運営を！

Q 市民ニーズに応じた公共交通の見直しを

A 輸送資源を活用し、よりよい公共交通を検討



動画視聴はこちらから

【議員】昨年実施した公共交通アンケートの結果は。

【都市建設部長】自動車を運転できなくなることや公共交通の減便・廃止への不安が多く、免許返納者や高齢者の移動支援の充実を求める声が最多。また、交通事業者調査では、運転手不足も課題である。

【議員】実証実験中の地域内運行バス等について、市民ニーズに応じたデマンド型などの運行方法を調査検討する考えは。

【都市建設部長】地域公共交通会議で、バス路線の方向性を協議している。県の事業も活用し、地域内運行バス等の再編を含め調査分析する。

【議員】地域の輸送資源のフル活用を推進する法改正を機に、既存の公共交通に加えスクールバスなど市内にある輸送資源の活用等を調査検討しては。

【都市建設部長】スクールバスの空き時間にデマンド型で活用する方法は効率的と考える。県の再編事業に採択されたので県とも相談し、よりよい公共交通を検討していく。

【議員】市長は、公共交通の充実を公約に掲げている。子供や高齢者が行きたい時に行きたい場所へ行ける公共交通を目指しては。

【市長】公共交通は重要な課題であり、限られた財源の中で、最大限の支援ができるよう努めていく。

■他の質問
▼住環境の整備　ほか



行きたい場所へ行ける公共交通を！

一人当たり持ち時間は45分でした。

Q 安心して暮らし続けるための高齢者支援は？

A 地域全体で温かく見守り、安心して暮らせる筑西へ


塚田議員

動画視聴はこちらから

【議員】認知症の方や家族への支援についての取組は。

【福祉部長】認知症サポーターの養成、認知症初期集中支援チームの配置等を実施している。今後は、認知症サポーターの養成に加え、地域における見守りや認知症カフェの運営、交流支援等の継続的な地域活動につながるよう取り組む。

【議員】認知症の方が行方不明になったときに、早期発見が命を守ることにつながると考えるが、見守り体制は。

【福祉部長】筑西警察署、地域包括支援センター、医療・介護関係機関、民間事業者等と連携し、SOSネットワークを構築しており、登録情報を活用し、2件が早期帰宅につながっている。

【議員】高齢者の熱中症対策として実施しているエアコン購入助成制度の実績は。また、電気料金への助成も必要ではないか。

【福祉部長】7月末現在、新規5件、買換え13件である。電気料金の補助は実施していない。

【市長】高齢者の熱中症対策は重要であり、適切な水分補給や空調管理の重要性を啓発していく。

【議員】買物・通院の支援の状況は。

【福祉部長】移動販売は自治会からの要望に基づき停留場所を設置し、実施している。通院等は「のり愛くん」、路線バス、介護保険による通院等乗降介助などを組み合わせて支援している。

■他の質問
▼アルテリオの整備



介護保険制度利用の手引き

Q もっと気軽に受診できないか？受診のハードルを下げる取組は？

A 受診までのプロセスについて周知していく


増渕議員

動画視聴はこちらから

【議員】茨城県西部メディカルセンターでの受診は、紹介状を要し、予約制であることから、受診するにはハードルが高いとの声がある。市民の命を守る病院であることから、気軽に受診していただきたいと考えるが、受診しやすくする方策はないか。

【財務部長】受診までのハードルが高いとの声は認識しているが、茨城県西部メディカルセンターでは専門的な検査等を担い、また、国の制度上、200床以上の病院の受診には選定療養費が義務付けられているため、紹介状が必要である。通常の外来診療では、市民がいつでも受診できる方法はないが、市として、予約方法、受診までのプロセスについて、分かりやすく周知する等、受診のハードルを下げる取組を進めていく。

【議員】多額の補助金を支出しているが、市は人事面や経営面でどの程度介入できるのか。

【財務部長】制度上、病院職員の採用や給与は、理事長に権限があるため、市が直接関与することはできないが、経営面では、中期目標を通じた指示によって関与することができる。理事長による意思決定の迅速化や人材の確保等、地方独立行政法人制度のメリットを最大限に生かすため、病院への要望を適時適切に行っていく。

■他の質問
▼土木行政



気軽に受診できる方策を！

Q 広島市長の平和宣言をどう受け止めたのか？

A 改めて平和への思いを強くしたところである


石嶋議員

動画視聴はこちらから

【議員】81年前、広島と長崎に投下された原子爆弾は一瞬にして２つの都市を焼き尽くし、多くの命を奪い、その圧倒的多数は、女性や子供など非戦闘員であった。辛うじて生き延びた人々も放射線被害をはじめとする心身の病、社会的差別や経済的貧困に苦しんだ。市長は広島での平和記念式典に参列したが、そこでの国連事務総長や広島市長の平和宣言をどう受け止めたのか。

【市長】平和記念式典に参列し、平和宣言を拝聴したことで、改めて平和への思いを強くした。

【議員】式典に参加された経験を本市にどういかしていくのか。

【市長】来年度以降、小中学生及び高校生など、若い世代の代表を平和大使として、広島に派遣することについて協議を進めている。

【議員】若い世代への平和教育や体験が求められている。本市における平和に関する取組は。

【総務部長】毎年８月頃に非核平和パネル展を開催しているほか、平和記念公園の原爆の子の像への折り鶴の奉納、原水爆禁止平和大行進や反核平和の日リレーへの協賛、市内ＮＰＯ法人主催の原爆体験記朗読劇への補助金交付などを行っている。



本市の非核平和パネル展

■他の質問
▼生活支援
▼農家数及び農業人口の推移
ほか

Q 西部メディカルセンターで横領事件発生！記者会見を開き市民へ謝罪する考えは？

A 記者会見を開く予定はない


小倉議員

動画視聴はこちらから

【議員】市長は西部メディカルでの横領事件の責任をどう認識しているか。

【市長】あってはならないことであり、市民の信頼を著しく損ねたことは極めて遺憾である。政治的、道義的責任について重く受け止めている。

【議員】警察の捜査が終了し、全容が明らかになったときには、記者会見を開き、市民への謝罪と今後市が病院とどのように関わっていくのか、また、市としての再発防止策について市長自ら話す機会をつくる必要があるのではないか。

【市長】理事長の任命権を持ってはいるが、内部の業務には、積極的に関与していなかった。今後は担当部を財務部に移したことから、責任ある関係を築きたい。

【議員】今までは関係性がなかったので責任がないと受け取れるが、記者会見は開かないと理解してよいか。

【市長】記者会見を開く予定はない。

【議員】病院の運営には市民の税金が使われている。その中で起きた横領事件が、市に全く責任がないわけではない。記者会見を開き市民へ謝罪する必要があるのでは。

【市長】市民に対する説明の機会については、病院と連携して検討したい。


横領事件が発生した西部メディカルセンター。筑西市としての責任は？

■他の質問
▼防犯
▼犯罪対策
▼アルテリオ

一人当たり持ち時間は 45 分でした。

Q 災害時のペット同行避難、知られていない？

A 周知を強化し、訓練も段階的に検討していく



動画視聴はこちらから

【議員】本市における災害時のペット同行避難の受入れ体制と、市民への周知の状況は。

【市民環境部長】ペット同行避難は可能であり、避難所に隣接した風雨をしのげる屋外の専用スペースにケージにて受け入れる計画としている。なお、避難スペース内への同伴は制限している。

【議員】ペット同行避難を周知し、避難者同士の混乱やトラブルを防ぐ必要がある。現在の防災ハザードマップにはペット同行避難に関する記載がなく、今後掲載する考えはあるか。

【市民環境部長】ハザードマップへのペット同行避難に関する記載については、今後検討していく。なお、ペットと離れることを好まない場合には車中泊を望む方もいる。

【議員】ペット同行避難の制度を市民に周知するため、避難訓練の際に実際にペットを連れた同行避難訓練を実施する考えはあるか。

【市民環境部長】地域防災計画の改定に合わせて、ペット同行避難の受入れ体制の見直しを進めている。改定後は市民への周知を図るとともに、ペット同行避難訓練についても今後の状況を見ながら段階的に検討していく。



ペット同行避難の周知を！（イメージ）

■他の質問
▼自殺対策
▼道路除草

Q アンダーパスにエアー遮断機の設置を検討してはどうか？

A 今後研究していく



動画視聴はこちらから

【議員】アンダーパス等の冠水箇所での規制基準や情報伝達方法は。

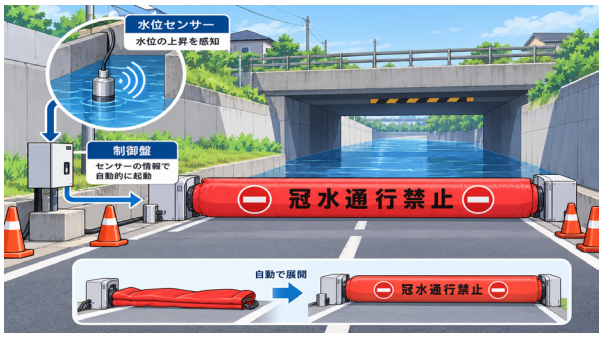
【都市建設部長】職員による危険箇所のパトロールを実施し、降雨の強まり方、累計雨量などを勘案し、通行規制の判断を行っている。情報伝達の方法として、ハード面では現地において職員がセーフティーコーンを設置し、ソフト面では、道路冠水等により、長時間の通行不能な状況と判断した場合には、関係部署と連携し、市ホームページ、ＳＮＳ等に通行止めの情報を掲載する。

【議員】冠水対策として、一定の水位に達したときに自動で作動するエアー遮断機を設置するという方法があるが、本市において設置の考えは。

【都市建設部長】職員の現況確認作業が軽減されるため、同装置について、今後研究していく。

【議員】冠水により走行不能となった放置車両の移動に関する判断基準は。

【都市建設部長】通行止めを実施し、所有者が移動するまで該当道路を封鎖する。放置車両を移動する際には、筑西警察署と協議し、移動の可否を判断する。



エアー遮断機（イメージ）

Q 空き家対策の強化へ、人員体制の充実を！

A 人員確保も重要。対策強化に向け前進させていく



動画視聴はこちらから

【議員】本市の空き家は現在、2，850件にも上り、今後も増加が懸念される。空き家になる前からの予防対策が重要と考えるが本市の考えは。

【市民環境部長】空き家にさせない予防対策は極めて重要と認識している。住まいの終活を含め、早期の意識啓発を図ってまいりたい。

【議員】空き家を除却した場合に、税負担が増えることが除却をためらう一因となっている。一定期間の税負担軽減などの支援策を行う考えは。

【市民環境部長】税負担増加は除却をためらう一因と認識している。今後、本市の実情に即した実効性のある支援策の在り方について検討を進めていく。

【議員】今後、予防対策まで本格的に進めていくためには、現在の人員体制では限界がある。人員体制強化の考えはあるか。

【市民環境部長】今後の業務量が増加した場合、現在の人員では限界がある。今後、人事部局とも協議していきたい。

【議員】政策と人員体制は常にセットである。市長の考えは。

【市長】人員確保も重要であり、人事担当と検討を進めながら、対策強化を前へ進めていく。



税負担軽減などの支援策を！

■他の質問
▼フェーズフリー
▼地域産品の高付加価値化
▼多目的運動場整備

Q 大雨の際、道路冠水エリアの改善や修繕の計画は？

A 少しでも被害を軽減できるよう取り組んでまいりたい



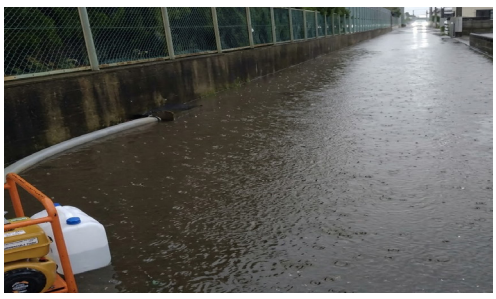
動画視聴はこちらから

【議員】近年、夜中に雷が鳴ったり、明け方に激しい雷雨に見舞われたりと、これまでに経験のない激しい雨が多く、用水路があふれて道路が冠水しているのを目にするが、市内で大雨時に冠水してしまう道路や地域について、市はどの程度把握しているのか。

【都市建設部長】台風やゲリラ豪雨時など災害時において注視している箇所は、10か所程度ある。

【議員】その冠水エリアの改善や修繕の計画はあるのか。

【都市建設部長】近年の気候変動によるゲリラ豪雨等に起因した冠水被害は、既存のインフラ能力を大きく超えるケースが増えている。その被害を全て完全に防ぎ切ることは、物理的、時間的に非常に困難であると考える。そのため、道路における冠水対策について具体的な改善、修繕計画を現時点で示すことは難しいが、改善・修繕が必要な場合は、解消に向けて、側溝の整備など、排水機能の改善を実施している。全てを一度に解決することはできないが、浸水時間を短縮し、少しでも被害を軽減できるよう取り組んでまいりたい。



道路冠水エリアの改善を！

■他の質問
▼協働のまちづくり支援事業
▼広報行政

一人当たり持ち時間は 45 分でした。

Q 農地集約・経営支援の専門的な「コーディネーター」を育成・配置すべきではないか？

A 農業を守る専門員の育成・配置を前向きに検討する


榎戸議員

動画視聴はこちらから

【議員】
市内の農家が5年間で600戸も減少しており、農業は存亡の機にある。国が推進する「農業経営基盤強化促進法」に対し、市は具体的にどう動いているのか。

【産業経済部長】
厳しい現状は認識している。地域計画の更新に向け、ホームページでの周知や関係機関との連携を図り、地域での協議を進めていきたい。

【議員】
周知を待つだけの消極的な姿勢では不十分だ。先行する深見地区では地元主導で農地集約が進んでいるが、他の5地区へ波及させるための行政の熱量が見えない。現場に自ら足を運び、農家と知恵を絞るべきではないか。

【産業経済部長】
深見地区の事例を参考に、今後は各地区の座談会などへ積極的に参画し、現場に寄り添った対応を強化する。

【議員】
数年で異動する職員では農家との信頼関係を築けない。10年先を見据え、農地集約や経営支援の調整役を担う専門的な「コーディネーター」を育成・配置すべきではないか。

【市長】
農業を守ることは市の最重要課題である。長期的なスパンで現場を支えるエキスパートの必要性は理解しており、大学教授等の助言も仰ぎながら、専門員の育成・配置を前向きに検討する。

■他の質問
▼保育行政


農業を守る専門員の育成を！

Q 学校体育館へ空調設備の早期設置を！

A 中学校体育館の整備から取り組みたい


保坂議員

動画視聴はこちらから

【議員】
教育の場であり、災害時には避難所にもなる学校体育館の空調整備状況について伺いたい。

【教育部長】
明野五葉学園前期課程の体育館には設置済みだが、その他の小中学校体育館は未整備である。

【議員】
夏の猛暑対策である学校体育館の空調整備は、子供たちの教育環境の向上、さらには避難所機能の強化として、早期整備が不可欠である。国は体育館の空調設置率目標を令和13年度までに100％へと前倒ししたが、本市の設置率は現在25％にとどまり、全国平均（93・1％）や県平均（93・8％）を下回っている状況である。国の補助金や地方債を活用すれば、市の計画的な実質負担は25％に抑えられ、空調にかかる光熱費への交付税措置も受けられる。空調設備の設置は命に関わることでもあることから、有利な制度を活用し、速やかに整備を進めるべきと考えるが、市の見解は。

【教育部長】
学校体育館は災害時に避難所として優先開設される役割があるため、まずは中学校から優先的に整備を進めていく。可能な限り早期の整備に向けて取り組んでまいりたい。

■他の質問
▼公共施設の跡地等利用
▼ふるさと納税　ほか


学校体育館の空調整備を！

経済土木委員会

視察地　①青森県八戸市（５月 12 日）　②岩手県二戸市（５月 13 日）
テーマ　①中心市街地の活性化及びまちづくりについて
　　②公民連携事業及び漆振興事業について


視察研修の様子（八戸市）

①八戸市の中心市街地は、商業のまちとして機能してきた歴史を有しているが、商業施設の郊外化の動きが加速するなど社会情勢の変化を受けて空洞化が深刻な課題となった。こうした状況を踏まえ、中心市街地を商業の拠点だけではなく、社会的、文化的活動の拠点として位置付け、公共施設の整備を戦略的に進めた。また、「人が主役」のまちづくりを推進するとともに、地域資源の有効活用、様々な主体の参加による取組を推進し、次世代につなぐ中心市街地を目指して、官民一体となって検討を進め、中心市街地の更なる活性化に向けて取り組んでいた。

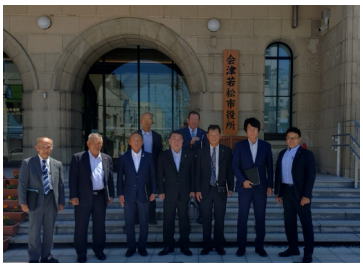

視察研修の様子（二戸市）

②二戸市では、市の魅力的な文化や伝統、特産品などを「宝」として捉え、市民と一体となって「宝」をいかしたまちづくりに取り組んでおり、イベント等の実施や特産品開発が行われるなど一定の効果が得られている。また、次世代につなげる取組として、民間力を活用した公民連携まち再生事業を市内の３つの重点地区において展開している。さらに、漆の生産が非常に盛んであり、地域の特産品でもあることから、地域おこし協力隊制度を活用した人材育成に取り組むとともに、民間企業等と連携した 漆林の整備や植栽を実施するなど、地域の特産品の振興に取り組んでいた。

議会運営委員会

視察地　①福島県会津若松市（７月７日）　②福島県郡山市（７月８日）
テーマ　①議会基本条例に基づく議会改革の取組について
　　②市民との議会報告会・意見交換会について

①会津若松市議会では、主権者である住民の意見を政策に変換する独自の政策サイクルをつくり上げている。議員自らが班を編成して準備・運営を担うとともに、そこで出された多様な意見を広報広聴委員会で整理・分析し、解決すべき政策課題として各委員会へとつないでいく組織的な流れが確立されていた。さらに、外部評価者等の意見を積極的に取り入れ、自らの活動を客観的に振り返り、議会改革の質を絶えず高めていく仕組みが構築されていた。


会津若松市役所にて

②郡山市議会では、開かれた議会を目指し、広聴広報委員会を中心に市民と議員が直接対話する議会報告会・意見交換会を行っている。そこでは、手話通訳の導入や託児環境の整備により、多様な層の声を直接聴く体制を構築し、また、若年層への主権者教育として、模擬選挙や人気作品を活用したリーフレットによる議場見学を実施し、議会への関心向上につなげていた。優秀賞を受賞した市議会だよりの発行や議会モニター制度など、広報と広聴の両面から市民の声を市政に反映させる一連の仕組みにより、議会の活性化を図っていた。


視察研修の様子（郡山市）

広報委員会

視察地　①新潟県加茂市（７月 28 日）　②新潟県燕市（７月 29 日）
テーマ　議会広報紙について


視察研修の様子（加茂市）


視察研修の様子（燕市）

①加茂市議会では、従来の形式的な議会だよりから脱却し、市民の関心に焦点を当てた紙面改革を進めている。具体的な取組としては、一般質問の記事において議事録の要約という機械的・形式的な内容にならないよう、Ｑ＆Ａの要約だけでは伝わらない意図を示すことを目的として「議員の質問意図」欄を掲載している。また、ＹｏｕＴｕｂｅを活用し、議員の個性が見て取れるような動きのある動画の積極的な発信など、市民が議会に関心を持ち、親しみを感じることができる工夫に取り組んでいた。
②燕市議会では、「読みやすく、わかりやすく、親しみやすい」議会だよりという編集方針を掲げ、手に取ってもらえる、手に取りたくなるような目新しいインパクトのあるデザインをコンセプトとし、会議録センターのプロの視点を効果的に活用することで、余白・表紙デザイン・フォントの緩急・写真の配置などの「伝わるレイアウト」を徹底し、全国から多数の議会が視察に訪れる高い完成度を誇っている。また、裏表紙の市民登場企画では、「市民の声」を掲載しており、従来の堅い議会のイメージを払拭し、市民との距離を近づける「自ら創る議会広報」として極めて有益なモデルであった。

総務企画委員会

視察地　①岩手県北上市（８月４日）　②岩手県滝沢市（８月５日）
テーマ　①「あじさい都市きたかみ」について
　　②ビッグルーフ滝沢について

①北上市は、「あじさい都市きたかみ」を将来像に掲げ、拠点とネットワークでつなぐ「多極集中連携型」のまちづくりを推進している。最大の特徴は、積極的な企業誘致による「ものづくり産業」の集積である。現在 11 の工業団地に約 300 社が立地し、製造品出荷額は県内第２位を誇り、強固な財政基盤を築いている。特筆すべきは若者の人口動態で、豊富な雇用機会を背景に、就職期に若者が再び戻る、あるいは新しく転入する「還流」が起きている。産業の力で若者を惹きつけ、定着させる先人的な投資と、住民の愛着を醸成する共助の仕組みを両立させた、持続可能な地方都市モデルである。
②滝沢市の「ビッグルーフ滝沢」は、岩手山の稜線をイメージした大屋根が特徴の複合施設で、コミュニティセンター、図書館、産業創造センターの３エリアで構成され、災害時には避難所として機能する。市制移行に伴い、分散していた人口をつなぎとめ、市街地拠点を形成する目的で整備された。運営面では指定管理者制度を導入し、施設利用料や物販等の収益を確保しつつ、収益の 15％を市に納付する仕組みを構築している。


視察研修の様子（北上市）


視察研修の様子（滝沢市）

議会日誌

8月
26日　会派代表者等会議、第３回地方独立行政法人茨城県西部医療機構における横領事件に関する調査特別委員会
28日　議会運営委員会、第２回茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
31日　第７回全員協議会

9月
２日～28日　筑西市議会 第３回定例会
２日　第８回全員協議会
９日　自治会連合会との意見交換会
28日　議会運営委員会、第４回地方独立行政法人茨城県西部医療機構における横領事件に関する調査特別委員会、広報委員会

10月
１日　議会運営委員会
６日～７日　福祉文教委員会視察研修（愛知県豊田市、大府市）
20日　広報委員会
21日　茨城県市議会議長会定例会

11月
５日　下妻地方広域事務組合第２回全員協議会・第２回議会定例会

朗読ボランティア「野ばらの会」様のご協力により「声の議会だより」として、議会だよりと合わせてホームページ上で配信していますので、ぜひ聞いてみてください。

次の定例会（第４回定例会）は
令和８年12月２日
に開会の予定です

日	月	火	水	木	金	土
		12/1	2	3	4	5
			開会 議案説明	休会	一般質問	休会
6	7	8	9	10	11	12
休会	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	議案質疑	休会
13	14	15	16	17	18	19
休会	総務企画委員会	福祉文教委員会	経済土木委員会	休会	討論・採決閉会	

●議会の放映は、市役所本庁舎1階「憩の広場」と６階「議場前ホール」でご覧になれます。
●ケーブルテレビの放映、インターネット配信（録画）もあわせてご覧ください。
●議場内での傍聴を希望される方は、開会30分前から６階議場前にて受付を行っています。

注）日程は変更となる可能性がございます。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

人事紹介

人権擁護委員の推薦に同意
中澤忠義（再任・成田）

行政視察来市

事業の調査・研究のため、次の議会が来訪されました。

○兵庫県洲本市議会
8月19日
宙・公明党（４名）
内容：子育て支援の取組について
学校施設を利用した複合施設について

○埼玉県吉見町議会
10月8日
文教生活常任委員会（11名）
内容：明野五葉学園の施設概要及びスクールバス等の通学環境の整備について

議員辞職のご報告

三澤隆一議員は9月2日をもって市議会議員を辞職されました。

編集後記

異常気象による猛暑や台風が乱来し、豪雨による災害がやっと落ち着きをみせる昨今、清々しい季節となり市内では体育祭や文化祭がにぎやかに開催されています。

今定例会では令和７年度決算特別委員会が設置され、その審査については各議員から鋭い質疑があり、担当の職員からは熱心な答弁がありました。議会だより第92号では特集ページを組んでいますのでご覧ください。

また、各項にはＱＲコードが掲載されており、議会の内容が動画にてさらに分かりやすくご視聴いただけるようになっていますので、そちらもぜひご利用ください。

月日が過ぎるのは早いもので、間もなく新しい年の準備をする時期となります。来年こそは災害のない平穏な年になりますよう願っています。

なお、公職選挙法により議員個人の年賀状の差し出しは禁止されておりますので、何卒ご了承ください。

（藤澤和成）

【広報委員会】
委員長　鈴木一樹
副委員長　國府田和
委員　新井暁
〃　水柿幸
〃　中座敏美
〃　藤澤和成
〃　増田隆
〃　渕中慎
〃　治徳

筑西市議会事務局
〒308－8616　筑西市田中町丙360番地
☎0296－24－2173